

この他にも中学校・高等学校・特別支援学校で使える親学習プログラムをホームページ上でたくさん紹介しています。ここでは、エピソード等、その一部を紹介します。

テーマ

子どもに条件をつけて接していませんか？

ねらい

思春期を迎えた我が子に、かけがえのない大切な存在であることをどのように伝えたらよいかについて考える。

対象・時間

中学生・高校生の子どもを持つ保護者（50分）

【ある相談室でのつぶやき】

Aさん：「受験する高校を決めるとき、あなたの将来のためとって、親が意見を通そうとしました。本当に私のことを考えてくれているなら、自分の意志で決めさせてくれればいいのに…。両親が大切なのは、『わたし』ではなく、『優秀なわたし』なの…。」

Bさん：「僕はたまたまテニスが得意で、一応部活でもリーダーと言われているから…。親はみんなに自慢しているけれども、自分からテニスを取ったら、きっと僕のことなんか誰も相手にしてくれないよ…。」

Cさん：「クラスではいつもおもしろいことを言ってみんなを笑わせたりしているので、周りからは明るいやつ、ユニークなやつと思われているんです。だから、少しでもおもしろいことが言えないと、みんなにがっかりされるような気がして…。最近では明るい自分であることに疲れてきました…。」

活用のポイント



◎つぶやきを読んで感想を話し合うとともに、思春期を迎えた我が子にかけがえのない大切な存在であることをどのように伝えるか話し合しましょう。

テーマ

あなたならどうしますか～家庭における性教育～

ねらい

子どもたちの性や男女の付き合い方について、家庭でどう関わるかについて考える。

対象・時間

中学生・高校生の子どもを持つ保護者（50分）

【エピソード】

高校生になり、欲しい物があるときくらいしか自分から話しかけなくなった淳子。そんな淳子は、最近、特におしゃれに気を遣うようになり、携帯電話で長話をしたり、帰りが遅くなったりすることが増えてきました。淳子と友達との会話から、どうやら彼氏がいるような気配です。

母：「ねえ、最近帰りが遅いことが増えているようだけど、大丈夫なの。」

淳子：「友達と話しているだけだよ。」

母：「それならいいけど、困ったことがあったらいつでもお母さんに相談しなさいよ。」

淳子：「大丈夫だって。」

母：「ところで、彼氏なんているの？」

淳子：「いないに決まってるでしょ。」

母：「それならいいけれど…。」

活用のポイント



◎エピソードを読んで、感想やこのような場面に直面した時、どのような対応をすべきか話し合うとともに、家庭における性教育のあり方や、実際に行っていることなどについても情報交換をしましょう。